

プレス発表資料

平成23年9月28日
独立行政法人 防災科学技術研究所

シンポジウム「東日本大震災の記録とその活用 ～311まるごとアーカイブの目指すもの～」を開催

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、10月8日（土）午後1時から遠野市民センターにて、シンポジウム「東日本大震災の記録とその活用～311まるごとアーカイブの目指すもの～」を開催します。本シンポジウムは、被災地の自治体の協力を得て東日本大震災のデジタルアーカイブを公民協働で推進している311まるごとアーカイブス、および、サイエンス映像学会、学会連携・震災プロジェクトと共催で実施します。

第1部では東日本大震災の被害や復興過程をアーカイブする被災地の取り組みを紹介し、第2部で被災自治体の市長や教育長他を交え、アーカイブされたコンテンツの活用方策やコンテンツを巡る新たな社会起業を通じた地域振興の在り方について討論します。第3部ではハーバード大学日本研究所長他国内の防災及びアーカイブの研究者を交え、デジタルアーカイブ分野における国際貢献や国際社会との協力・連携について討論します。

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会，科学記者会，筑波研究学園都市記者会

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
リスク研究ユニット
長坂、須永
電話：029-863-7546

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
アウトリーチグループ
佐竹、松宮
電話：029-863-7783
FAX：029-851-1622

シンポジウム「東日本大震災の記録とその活用 ～311まるごとアーカイブスの目指すもの～」を開催

1. シンポジウム開催趣旨

3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪い、地域社会に壊滅的な被害を与えました。この経験や教訓を人類共通の資産として千年先の後世に伝承し、安全な社会を構築することが現世代の責任です。今回のシンポジウムでは、被災地の失われた「過去」の記憶をデジタルで再生し、被災した「現在」と復興に向けた「未来」の映像や資料をデジタルで記録し、まるごとアーカイブすることを目的とした「311まるごとアーカイブス」のデータ収集と保存の取り組みを紹介し、アーカイブされたデータの活用について議論します。

そのうえで、今回の震災体験を人類共通の資産として世界に発信することについて、アンドリュー・ゴードンハーバード大学ライシャワー日本研究所所長を交えて議論します。

2. 開催概要

【名 称】 シンポジウム 東日本大震災の記録とその活用
～311まるごとアーカイブスの目指すもの～

【日 時】 2011年10月8日 13:00～18:00

【会 場】 遠野市民センター
(岩手県遠野市新町1-10)

【定 員】 150名 (事前登録制、当日受付あり)

【参加費】 無料

【共 催】 [サイエンス映像学会](#)
[独立行政法人防災科学技術研究所](#)
[311まるごとアーカイブス](#)
[学会連携・震災対応プロジェクト](#)

【後援(一部申請中)】

岩手県、遠野市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、宮古市、大槌町、山田町、
住田町、気仙沼市、

三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会

岩手日報、河北新報、岩手日日新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、
日本経済新聞、時事通信社、共同通信社、遠野テレビ、NHK盛岡放送局、
IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ

3. プログラム

開会の挨拶 13:00~13:10

遠野市 本田敏秋 市長

311まるごとアーカイブス 世話人 今村文彦 東北大学教授

【第1部】 アーカイブスの【データを集める】 13:10~14:25

●311まるごとアーカイブス 活動の目的と概況

長坂俊成(独立行政法人防災科学技術研究所、311まるごとアーカイブス 世話人)

●データ収集の取り組みの紹介

- 1 大船渡、陸前高田の若者を中心とした画像、映像、インタビュー等のアーカイブ
- 2 釜石市のアーカイブの取り組み
- 3 気仙沼の映像、画像のアーカイブと展示
- 4 災害体験のオーラルヒストリー(被災体験のメッセージと避難行動の聞き取り)の収集
- 5 宮城県、岩手県の被災自治体の市民記録による災害映像、画像の収集
- 6 大船渡の中学生、シニアを対象とした映像作成ワークショップを通じたコミュニティの復興
- 7 遠野市等三陸地域地震災害後方支援活動のアーカイブ
- 8 被災地の写真映像記録ボランティアの活動
- 9 被災地の災害FM放送のアーカイブ
- 10 被災地の災害ボランティア活動と体験談のアーカイブ
- 11 地場産業の復興アーカイブと民間コマースサイトとの連携
- 12 測量車両による360度映像と測量のアーカイブ
- 13 復興情報杭とスマートフォン等による復興過程の定点撮影とフィールドミュージアム構想

【第2部】 アーカイブスの【データを活用する】 14:25~16:05

●シンポジウム1

「パネルディスカッション データの収集・活用をめぐる課題とアイデア」

登壇者： 本田敏秋 遠野市長

野田武則 釜石市長

久保田崇 陸前高田副市長

今野洋二 大船渡市教育長

今村文彦 東北大学教授(311まるごとアーカイブス 世話人)

松原 聡 東洋大学教授(学会連携・震災対応プロジェクト代表)

高田正行 ヤフー株式会社 R&D統括本部フロントエンド開発2本部開発
1部部長

司 会： 防災科学技術研究所 長坂主任研究員

【第3部】 アーカイブスの【データを世界に発信する】 16:20～

17:50

●シンポジウム2「震災体験を世界に発信」

登壇者： 畑祥雄（関西学院大学教授、サイエンス映像学会常務理事）、
今村文彦（東北大学教授、311まるごとアーカイブス 世話人）
吉見俊哉（東京大学教授、311まるごとアーカイブス 世話人）
アンドリュー・ゴードン（ハーバード大学教授ライシャワー日本研究所所長）

コメンテータ： 日比野純一（特定非営利活動法人エフエムわいわい）

司会： 徳山喜雄（朝日新聞社、サイエンス映像学会理事）

閉会の挨拶 17:50～18:00

長坂俊成（独立行政法人防災科学技術研究所、311まるごとアーカイブス 世話人）

4. 参加申込み、お問い合わせ web サイト

参加申込およびお問い合わせは、以下のサイトにて受け付けております。

<http://311archives.jp/hp/tono-sympo>

シンポジウム 東日本大震災の記録とその活用



311 まるごとアーカイブスの目指すもの

<http://311archives.jp/>

シンポジウムの主旨

3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪い、地域社会に壊滅的な被害を与えました。この経験や教訓を人類共通の資産として千年先の後世に伝承し、安全な社会を構築することが現世代の責任です。今回のシンポジウムでは、被災地の失われた「過去」の記憶をデジタルで再生し、被災した「現在」と復興に向けた「未来」の映像や資料をデジタルで記録し、まるごとアーカイブすることを目的とした「311 まるごとアーカイブス」のデータ収集と保存の取り組みを紹介し、アーカイブされたデータの活用について議論します。

そのうえで、今回の震災体験を人類共通の資産として世界に発信することについて、アンドリュー・ゴードンハーバード大学ライシャワー日本研究所所長を交えて議論します。



[日時] 2011年 10月 8日 [土]
13:00~18:00

[会場] 遠野市民センター

[定員] 150名 (事前登録制、当日受付有)

シンポジウム参加申し込み、および宿泊送迎のご案内
URL : <http://311archives.jp/hp/tono-sympo>

参加
無料

関連シンポジウム

学会連携・震災対応プロジェクト
シンポジウム

[日時] 10月9日 [日] 13:30~16:30

[会場] 大船渡市リアスホール

URL : <http://gakkai-renkei.jp/ofunato/>

➡ プログラムは裏面を参照ください

問い合わせ先

311 まるごとアーカイブス事務局

独立行政法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域リスク研究ユニット 内

担当：長坂、須永 電話：029-863-7553

参加申し込み・お問い合わせ URL : <http://311archives.jp/hp/tono-sympo>

共催

サイエンス映像学会
学会連携・震災対応プロジェクト
独立行政法人 防災科学技術研究所
311 まるごとアーカイブス

後援 (一部申請中)

岩手県、遠野市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、宮古市、
大槌町、山田町、住田町、気仙沼市、南三陸町、
三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会

📺 ニコニコ動画で放送決定!

プログラム



13:00~13:10 開会の挨拶

遠野市 本田敏秋 市長

311 まるごとアーカイブス 世話人 今村文彦 東北大学教授

第1部 アーカイブスの【データを集める】

13:10~13:20 311 まるごとアーカイブス 活動の目的と概況

長坂俊成 (独立行政法人防災科学技術研究所、311 まるごとアーカイブス 世話人)

13:20~14:25 データ収集の取り組みの紹介

- 1 大船渡、陸前高田の若者を中心とした画像、映像、インタビュー等のアーカイブ
- 2 釜石市のアーカイブの取り組み
- 3 気仙沼の映像、画像のアーカイブと展示
- 4 災害体験のオーラルヒストリー (被災体験のメッセージと避難行動の聞き取り) の収集
- 5 宮城県、岩手県の被災自治体の市民記録による災害映像、画像の収集
- 6 大船渡の中学生、シニアを対象とした映像作成ワークショップを通じたコミュニティの復興
- 7 遠野市等三陸地域地震災害後方支援活動のアーカイブ
- 8 被災地の写真映像記録ボランティアの活動
- 9 被災地の災害FM放送のアーカイブ
- 10 被災地の災害ボランティア活動と体験談のアーカイブ
- 11 地場産業の復興アーカイブと民間コマースサイトとの連携
- 12 測量車両による360度映像と測定のアーカイブ
- 13 復興情報杭とスマートフォン等による復興過程の定点撮影とフィールドミュージアム構想

第2部 アーカイブスの【データを活用する】

14:35~16:05 シンポジウム1 「パネルディスカッションデータの収集・活用をめぐる課題とアイデア」

登壇者：遠野市 本田敏秋 市長、釜石市 野田武則 市長、大船渡市 今野洋二 教育長、

久保田崇 陸前高田副市長、今村文彦 東北大学教授、

松原聡 東洋大学教授 (学会連携・震災対応プロジェクト代表)、

ヤフー株式会社 高田正行 (R&D 統括本部フロントエンド開発2本部開発1部部長)

司 会：長坂俊成 (独立行政法人防災科学技術研究所、311 まるごとアーカイブス 世話人)

第3部 アーカイブスの【データを世界に発信する】

16:20 ~ 17:50 シンポジウム2 「震災体験を世界に発信」

登壇者：畑祥雄 (関西学院大学教授、サイエンス映像学会常務理事)

今村文彦 (東北大学教授、311 まるごとアーカイブス 世話人)

吉見俊哉 (東京大学教授、311 まるごとアーカイブス 世話人)

アンドリュー・ゴードン (ハーバード大学教授、ライシャワー日本研究所所長)

コメンテータ：日比野純一 (特定非営利活動法人 エフエムわいわい)

司 会：徳山喜雄 (朝日新聞社、サイエンス映像学会理事)

17:50~18:00 閉会の挨拶

長坂俊成 (独立行政法人防災科学技術研究所、311 まるごとアーカイブス 世話人)

[参加申し込み・お問い合わせ URL]

<http://311archives.jp/hp/tono-sympo>